

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

|                 |                                                                                                                       |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故                                                                                                                    |
| 2. 体験した事例の名称    | 火災現場活動中に熱中症になり、倒れそうになった事案                                                                                             |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 火災現場活動の前に訓練をしたことに加え、その日は気温が高く、十分な水分補給等できていなかったことから、熱中症になったもの。また、火災現場活動にも関わらず、屋内進入で放水活動をする時に面体をつけておらず、煙を大量に吸ってしまったもの。  |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 体調管理不足及び自分自身の消防知識が乏しかったことが原因と考えている。<br>・現場活動前に訓練を実施していたこと。<br>・気温が高く、十分な水分補給等ができていなかったこと。<br>・屋内進入で放水活動中に煙を吸ってしまったこと。 |

### 【体験した事例の直接的原因について】

|                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。) |
|------------------|------------------------------|

### 【体験した事例について】

|                                  |                   |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 発生日時                          | 令和1年5月15日 午前10時頃  |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴れ                |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外:長屋住宅出入口付近      |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。   |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)  | 軽傷の怪我             |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)     | その他:熱中症           |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災現場活動初期、[ 木造建物 ] |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか         | 放水活動              |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した           |

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

|                   |                                                             |
|-------------------|-------------------------------------------------------------|
| ○当事者A             | 年齢[21]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士]<br>同様の活動 [初めて]、任務 [隊員] |
| ○当事者B             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]      |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]      |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |                                                             |



|      | 誰が(何が) | なにをした                 | その他・備考など |
|------|--------|-----------------------|----------|
| 経過1  | Aが     | ホース延長訓練               |          |
| 経過2  | Aが     | 火災事案出動                |          |
| 経過3  | Aが     | 火災現場到着<br>ホースカーでホース延長 |          |
| 経過4  | Aが     | 放水活動                  |          |
| 経過5  | Aが     | 放水活動中に倒れそうになる。        |          |
| 経過6  |        |                       |          |
| 経過7  |        |                       |          |
| 経過8  |        |                       |          |
| 経過9  |        |                       |          |
| 経過10 |        |                       |          |
| 経過11 |        |                       |          |
| 経過12 |        |                       |          |

**● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●**

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた 危険情報を把握、予見できなかった 危険事象の対応方法を知らなかった 集中力、注意力がなかった 個人装備が不適切だった 現場周辺の地理がわからなかった 他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | はい  |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | はい |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | はい  |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | はい  |
| ・暑かった(寒かった)。     | はい  |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | はい  |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい  |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | はい  |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | はい  |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

周囲の安全確認及び冷静になり気持ち落ち着かせ活動する。

○装備・資機材の対策について

もっと資器材の取扱いに関する知識等学び、適切な取扱いができるようにする。

○活動環境の対策について

自分自身で体調管理をしっかり行う。

○指揮・情報伝達の対策について

隊長等の指示を聞き漏らさないように活動できるようにする。自部自身で判断できない事など隊長等にすぐに伝える。